



NISSIN
ELECTRIC

日新電機株式会社

本社：京都市右京区梅津高畝町47番地

https://nissin.jp/

従業員数：連結5,236名(単体2,038名)

※2021年3月末時点

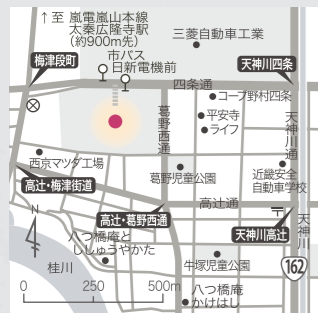
創業：1910年11月 創立：1917年4月

主な事業内容：電力・環境システム事業、ビーム・プラ

ズマ事業、装置部品ソリューション事業

資本金：102億5,284万円

売上高：連結1,247億円※2020年度実績



JOB INFORMATION

正社員募集



「おっちゃんとおばちゃん」の求人広告を見て応募です」とお伝えください。

2023年3月 第2新卒以上
大学卒業見込 歓迎

※2023年3月卒業見込みの方の採用につきましては、2022年6月1日以降に選考解禁します。

文系：営業、法務、経理、調達、他
理系：研究、開発、設計、営業技術、生産技術、品質保証、施工管理、現地調整

【応募資格】2023年卒業見込みの方(第2新卒の方ご相談ください)

【給与】修士了：241,000円、学部卒：217,000円※2021年度実績

【勤務地】京都、群馬、大阪、東京、愛知(転勤有)

【休日】完全週休2日制 土日祝・GW・夏季・年末年始 他

(2020年度休日数131日、有給休暇一斉取得4日含む)

【その他待遇】各種社会保険完備、財形貯蓄、独身寮・社宅、

家賃補助、確定拠出年金、退職金制度 他

【連絡先】https://nissin.jp/recruit/newgrads/

☎075-864-9017(人事部 採用グループ 澤田、渡部)

kyujis@ml.nissin.co.jp

「CO₂削減、脱炭素」への貢献がうれしい

企業や工場での
電気の自給自足を
目指して

角田 あかりさん 1996年入社。電力・環境システム事業部



SPSSの営業技術担当。お客様に最適なシステムを提案しています。どのお客様でも強く求められているのが「CO₂削減、脱炭素」。当社の技術とアイデアで、お客様に貢献できたときは本当に嬉しいです。



『コスト削減につながった』との声にやりがい

貞利 章文さん 2008年入社。電力・環境システム事業本部

SPSSの頭脳にあたるエネルギー管理システムの開発を担当しています。複雑なエネルギー管理を自動で行い、省エネやコスト削減を可視化できるため、お客様に喜ばれています。



制御の工夫で
水質を維持して
省エネ実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

どうやら、日新電機さんは主に



に関連して特に、

エネルギーのムダを省くこと、
クリーンなエネルギーの活用

でCO₂削減に貢献しているらしい

あの企業の
SDGs が
知りたい!

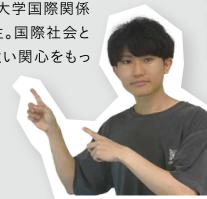
日新電機の場合

全国の電力会社や企業をお客様として、電気の安定供給に欠かせない電力機器をつくり続けて100年超、京都に本社を構える日新電機。国内外の産業基盤を支えるグローバルなBtoB企業に、学生3名が質問してきました!

私たちが
聞いてきました!

濱田 直秀さん

京都産業大学国際関係学部3年生。国際社会とSDGsに強い関心を持っている。



小原 葵さん

京都産業大学国際関係学部3年生。ゼミではSDGsについて研究中。



野口 将太郎さん

滋賀県立大学環境科学部4年生。研究テーマは環境教育。



長らく電力機器を販売されてきたようですが、SPSSの登場により、仕事の内容が変化しつつあるんですね。

「はい。設備全体を見たエネルギーの効率化についてお客様と考えるようになりました。大きく変化した電気の世界に合わせて、当社の事業や製品も進化していますが、『お客様に安全・安心な電気を届けること』という軸は変わらないですね。(貞利さん)

社内で、SDGsへの理解を深める取り組みはされていますか?

「社員向けのセミナーを行っています。今年7月にSDGs推進室という部署が新設され、今後はさらに勉強ができると思います。(角田さん)

ありがとうございます!「創立時から電気の活用に取り組み、事業そのものがSDGsとの親和性が非常に高い」ことに驚きました。大学では主にSDGsの概念を学んでいたのですが、現場の声を聞きすぎて理解が深まりました。

日新電機さんはSDGsへの関心が高く、さまざまな取り組みをされているんですね。

「近年では、すべての業種が環境への配慮を強く意識していると実感しています。SDGsは最近作られた概念ですが、当社は創立時から『電気の効率を高めること』を追求し、近年は再生可能エネルギーの活用にも取り組んでいます。当社の製品は基本的にオーダーメイド。『環境配慮、コストダウン、電力の安定供給のすべてを満たすシステムがほしい』などの声に応えるべく、営業と技術者が一緒に知恵を絞っています。(角田さん)

事業とSDGsのつながりを具体的に教えてください。

「SPSS®(スマート電力供給システム)で省エネと再生可能エネルギー活用を実現し、SDGsの目標13「気候変動に具体的な対策を」にCO₂削減で寄与しています。私の部署は、SPSSの電力エネルギーを賢く無駄なく使う制御をするエネルギー管理システムを開発。担当する水処理場でも使われています。汚水を微生物の働きできれいにするには大

環境への配慮の工夫も多いですね。システムの導入にはどのような苦労があるのですか?

「SPSSはお客様のニーズ実現のため、システムすべてを構築します。お客様の設備を最適運用できるように、当社のシステムで制御。ハードウェア、ソフトウェアの高度な連携が求められますし、設備に合わせてシステムを開発するため、かなり工夫が必要です。(貞利さん)

お客様とのやりとりで気づいたことや、やりがいについて教えてください。

「SDGsに関して、どのお客様も悩まながらできることを探されています。最近自治体から実証事業のお話も増え、エネルギー活用の機運が高まっていますと感じます。お客様からの『省エネ実現でコスト削減につながった』などの声にやりがいを感じますね。(角田さん・貞利さん)

